

## 商経論叢総目次（第1号～第39号）

### 第1号 1952（昭27）

原子土地法慣行序説——ダイヤク族の実体調査を基調としての考察	村 川 澄	(1)
最低賃金制度論	松 下 武 二	(24)
無差別曲線の研究（序説）	児 玉 元 平	(33)
後入先出法について	熊 本 帋 雄	(46)
会計学上の資本の概念について	中 村 謙	(57)
（資料）文化研究の方法論について——マリノウスキー「文化」より——		
	前野東一郎 訳	(63)
（資料）小売商業に於ける不完全競争		
	松井 哲夫 訳	(69)

### 第2号 1953（昭28）

労務管理の回顧と展望	松 下 武 二	(1)
財務諸表の体系	熊 本 帋 雄	(14)
棚卸資産の評価について	中 村 謙	(42)
企業会計目的観——再評価問題をめぐりて——	中 野 英 男	(51)
「標本調査技術」（W.G.コ克蘭著）に於ける一つの問題点	釜 場 一 郎	(左1)
所得分配の変化に関する一考察	児 玉 元 平	(左7)

### 第3号 1954（昭29）

農業共同組合会計における勘定の番号法について	中 野 英 男	(1)
所得成長率の変化について(一)	児 玉 元 平	(15)
R. ヌルクセ「低開発国の資本形成問題」	松 井 哲 夫	(27)
近代的銀行の成立に関する若干の覚書	楯 岡 重 行	(37)
判例研究（その二）	佐 伯 直 秀	(50)

### 第4号 1955（昭30）

歴史的経済学派における経済史研究の基本観照	池 田 照 彦	(1)
費用性と価値性 ——会計上における賃金——	大 即 英 夫	(7)
スペインにおける農業諸団体 ——農業協同組合の一側面——	有 富 重 尋	(18)

低価主義評価損の表示について……………	熊 本 帋 雄 (26)
Wilkin 判事の『キケロと自然法』について—紹介と批判—……	佐 伯 直 秀 (35)
メキシコ労使関係 ——その便宜主義的傾向——……………	山 崎 俊 夫 (46)
Identification の問題 (その 1) ——線型模型の場合について—…	筧 場 一 郎 (左1)

## 第 5 号 1956 (昭31)

流れ作業組織の主観的統一 ——藻利教授「工場管理」への方法論的考察——

……………	山 崎 俊 夫 (1)
中世商業の経済的意義……………	池 田 照 彦 (10)
退職給与引当金の考察……………	大 即 英 夫 (17)
株主総会に於ける議決権の代理行使について……………	佐 伯 直 秀 (25)
棚卸資産の期末評価……………	熊 本 帋 雄 (33)
信用の本質……………	菅 知 彦 (40)
メスタ史序論 (その一) ……………	有 富 重 尋 (48)
Identification の問題 (その 2) ——線型模型の場合について—…	筧 場 一 郎 (左1)

## 第 6 号 1957 (昭32)

経営技術学試論 (1) ……………	山 崎 俊 夫 (1)
株主譲渡の自由について……………	佐 伯 直 秀 (13)
Identification の問題 (そのⅢ) ——線型模型の場合について—……	筧 場 一 郎 (26)
商業信用と手形割引—銀行信用の基礎についての覚書—……………	菅 知 彦 (40)
メスタ史序論 (その 2) ……………	有 富 重 尋 (52)
資本主義生成過程における財政の意義=本質 ——覚書として——	
……………	福 丸 馨 一 (63)
BUSINESS COST の本質について……………	大 即 英 夫 (78)

## 第 7 号 1958 (昭33)

池超波氏対張魁峰氏の矛盾論争 ——生産力発展動力内因論と外因論——

……………	山 崎 俊 夫 (1)
募集設立における株式引受について	
——その入社契約説への疑問を中心にして——……………	佐 伯 直 秀 (15)
市民革命と其の経済的基礎……………	池 田 照 彦 (29)

- 保蔵貨幣について ——ケインズの所得をめぐって——……菅 知 彦 (41)
- 現代資本主義の「前向き性」と財政々策の問題—覚書……福 丸 馨 一 (55)
- Identification の問題 ——移動和過程の場合——……筈 場 一 郎 (69)
- スペイン絶対主義確立期の商業 ——穀類取引を中心として——  
 ……………有 富 重 尋 (83)

## 第 8 号 1959 (昭34)

- 両参一改運動の性格 ——その経営参加制度的側面—— ……山 崎 俊 夫 (1)
- スペイン絶対主義確立期の商業 (Ⅱ) ——穀類取引を中心として——  
 ……………有 富 重 尋 (15)
- 「特別利害関係人としての取締役」 ——計算書類承認にさいしての、議決権行使の  
 可、不能について——……佐 伯 直 秀 (25)
- 収支計算と動態論 ——シュマーレンバッハを中心として——…大 即 英 夫 (39)

## 第 9 号 1960 (昭和35)

- オーストラリア行政手続論序説(一)……尾 上 実 (1)
- 違法配当の返還義務について ——商法第290条第2項の株主には善意株主が含まれ  
 るか否か——……佐 伯 直 秀 (19)
- 同時方程式組織の Parameter を単一方程式最小自乗法によって推定した場合の「偏  
 り」について (その1) ——……筈 場 一 郎 (37)
- 株主配当本質論……熊 本 帛 雄 (58)
- 会計理論の展開……大 即 英 夫 (79)
- リカルドにおける経済理論構造の若干の問題点……池 田 照 彦 (101)

## 第10号 1961 (昭和36)

- 独占利潤と中小企業……三 好 正 巳 (1)
- マーシャルにおける古典学派理論への方法論的反省について……池 田 照 彦 (19)
- 株主総会決議無効の主張方法について——訴提起以外の、他の方法によることが許  
 されるか否か——……佐 伯 直 秀 (31)
- 財政学の「経済学化」に関する一考察—— U.K.Hicks, G.Colm の所得を中心として—  
 ……………福 丸 馨 一 (49)
- スペイン農業構造の基本的性格……有 富 重 尋 (81)

**第11号 1962 (昭37)**

- 経済学への提議(1) ——基礎的諸概念の再検討——……………友 岡 学 (1)
- 代位訴訟における取締役の責任の範囲について……………佐 伯 直 秀 (41)
- 中小工業論のための基礎的考察(一)……………三 好 正 巳 (55)
- マックス・ウェーバー理解への一試論——その方法論的反省について——  
……………池 田 照 彦 (75)
- メスタ、その意義と役割について……………有 富 重 尋 (87)

**第12号 1963 (昭38)**

- スペイン農業労働者の現状……………有 富 重 尋 (1)
- ドイツ・インフレーションの諸問題一覽書……………福 丸 馨 一 (15)
- 価値と市場……………友 岡 学 (43)
- 中小工業論のための基礎的考察(三)……………三 好 正 巳 (77)

**第13号 1964 (昭39)**

- “企業連合”についての覚え書 ——ヒルファーディングの所説を中心として——  
……………三 好 正 巳 (1)
- 自己金融をめぐる若干の問題 ——蓄積形態の展開——……………永 井 統 (17)
- 平和共存の思想と条件 ——その経済学的歴史学的接近——……………友 岡 学 (37)
- 監査報告書における補足的説明事項について……………高 田 駒次郎 (67)
- 商法第254条第2項の立法趣旨について ——資格株排除説の論拠について——  
……………佐 伯 直 秀 (99)
- 利潤率の傾向的低落の法則の内的諸矛盾に関する一考察(1)……………古 田 巖 (121)

**第14号 1965 (昭40)**

- 商法における引当金の考察……………熊 本 帋 雄 (1)
- 監査報告書における限定事項と説明事項について その1 限定事項について  
……………高 田 駒次郎 (13)
- マーケティング論理解へのところみ ——その展開と歴史——…有 富 重 尋 (37)
- アメリカにおける会社財務の最近の動向とその問題点  
——株式買いもどしについて——……………永 井 統 (61)
- 産業構造論序説—再生産構造への中小資本の定置に関連して—…三 好 正 巳 (87)

企業と利潤……………	友岡学	(105)
議決権代理行使委任状の勧誘規則とその問題点に就いて……………	佐伯直秀	(129)

### 第15号 1966 (昭41)

損益計算書における総額主義の原則……………	熊本 帋 雄	(1)
株式会社論ノート……………	三好 正 巳	(15)
経済学における私有財産の問題……………	友岡学	(33)
財務諸表の適性表示性に対する監査人の意見表明について (その1) ……………	高田 駒次郎	(55)
広告倫理についての一考察……………	高向 嘉 昭	(71)
最近のアメリカ経済の景気動向……………	古田 巖	(93)

### 第16号 1967 (昭42)

国家独占資本主義のもとでの賃労働の一断面……………	三好 正 巳	(1)
経済体制についての一考察……………	友岡学	(33)
税務会計の基盤構造分析……………	伊伏 彰	(83)

### 第17号 1968 (昭43)

原価計算と商的農業……………	伊伏 彰	(1)
国と地方の間の法律関係 ——中央集権化の傾向についての一考察—— ……………	楠 元 茂	(15)
労働力と労務管理についての一考察……………	児嶋 正 男	(35)
いわゆる“ポリシー・ミックス”の政策的意義とその衝撃メカニズムについて ……………	橋 口 幸 夫	(61)

### 第18号 1969 (昭44)

沖縄の財政問題 (その二) ——「一体化」政策と市町村財政の現状—— ……………	福 丸 馨 一	(1)
中小規模小売商の過剰化および過剰性に関する基礎的考察……………	高向 嘉 昭	(32)
行政上の苦情処理制度と Ombudsman 思想……………	楠 元 茂	(52)
企業内賃金管理変遷の一側面 ——戦後紡績賃金形態の変遷をめぐって—— ……………	児嶋 正 男	(74)

「二つの経済学」についての一試論 ——政策論の前提として——

.....橋 口 幸 夫(102)

戦後わが国における独占資本究明の方法について ——一つの覚書——

.....一 井 昭(127)

## 第19号 1971 (昭46)

(開学20周年記念論文集)

所得分配の Widow's Cruse 効果について.....児 玉 元 平 (1)

科学・技術概念の一般化.....友 岡 学 (27)

過疎問題ノート (I) ——志布志町, 笠沙町ほか予備調査から——

.....福 丸 馨 一 (49)

戦後失業問題の一視角 ——戦後労働力政策と社会保障——.....三 好 正 巳 (79)

日本資本主義編成下の農業破壊と農民層の分解——地域政策と農業政策の交点で

進められるもの——.....橋 口 幸 夫(105)

日本における流通問題.....有 富 重 尋(125)

企業会計原則修正案の性格.....中 野 英 男(157)

在高法と損益法.....中 村 謙(163)

継続性の原則について.....熊 本 帛 雄(181)

大島機業の流通構造.....高 向 嘉 昭(199)

地域伝統産業の構造的特質 ——大島紬の生産と労働 I——.....児 玉 正 男(221)

地方における苦情処理制度と地方的 Ombudsman に関する一考察

.....楠 元 茂(245)

(翻訳) プラント輸入で奨励を受ける経済行為と地域に関するアルヘンチナ国政令

.....山 崎 俊 夫(269)

(翻訳) A・シュルッツ情報経営論についての一考察.....伊 伏 彰(291)

(翻訳) K・ウィリアム・カップ環境破壊と社会的費用 ——経済学への挑戦——

.....一 井 昭(309)

## 第20号 1971 (昭46)

(創刊20周年記念号)

無償取得固定資産の評価.....熊 本 帛 雄 (1)

沖縄の市町村財政に関する覚書 (I) ——嘉手納村と糸満町——福 丸 馨 一 (19)

特別権力関係と裁量権の問題 ——公務員・学生に対する不利益処分に関する最近の判例を中心に——	楠 元 茂 (47)
産業構造変革と伝統産業 (大島紬)	高 向 嘉 昭 (71)
地域伝統産業の構造的特質 ——大島紬の生産と労働 (2)——	児 嶋 正 男 (89)
「都市と農村」問題についての一試論 ——実証論への前提的認識として——	橋 口 幸 夫 (113)
投資決定の最少収益率に関する一考察 ——A・シュテルバッハ所説の展開——	伊 伏 彰 (125)
鹿児島県の産業構造ノート (I) ——階級構成と「剰余価値率」——	一 井 昭 (139)
判例研究 取締役の職務代行者に関する最近の最高裁判決	黒 瀬 文 平 (153)

## 第21号 1972 (昭47)

沖縄返還の論理に関する一考察 ——沖縄の財政問題と地方自治——	福 丸 馨 一 (1)
環境保全行政をめぐる諸問題 ——条例を中心に——	楠 元 茂 (25)
軍事大国化と防衛産業 ——日本における産軍複合体について——	橋 口 幸 夫 (49)
行動科学と会計情報	伊 伏 彰 (81)
鹿児島の地場企業 (I) 〈大隅算盤製作所〉	児 嶋 正 男 (91)

## 第22号 1973 (昭48)

(熊本帋雄教授記念号)

商法の包括規定と公正な会計慣行	熊 本 帋 雄 (1)
資産の本質, 種類および評価	中 村 謙 (19)
商法第290条第2項の株主の意義について	佐 伯 直 秀 (33)
世界企業論「国民経済発展における国際労働の生産物」 ——特に, 国際観光企業組織体について——	山 崎 俊 夫 (49)
米国における後発事項問題の生成と展開について ——AICPAの監査手続書を中心として——	高 田 駒次郎 (73)
「志布志湾開発」と地方自治体 (その1)	福 丸 馨 一 (93)
鯉節の流通と消費 ——とくに, 鹿児島県産を中心として——	高 向 嘉 昭 (115)

環境保全立法の問題点 ——行政上の立ち入り検査, 日照, 条例の合法性を中心に——  
 .....楠 元 茂(139)

「国土開発と地域開発」についての若干の覚え書き ——その一元論的認識の虚構と  
 現実——.....橋 口 幸 夫(167)

賃金格差分析の一視角.....横 山 政 敏(193)

分権的意思決定の調整問題 ——D・アダムの所説を中心として——  
 .....伊 伏 彰(233)

鹿児島県の地場企業(Ⅱ) 〈南日本度器〉.....児 嶋 正 男(247)

## 第23号 1974(昭49)

沖縄財政の基本構造(Ⅰ) ——「一体化」と振興開発計画をめぐる諸問題——  
 .....福 丸 馨 一(1)

行商の研究(Ⅰ) ——行商の歴史と行商人の源流——.....高 向 嘉 昭(33)

行政行為における撤回の制限について.....楠 元 茂(51)

「所得政策」批判について(Ⅰ).....横 山 政 敏(79)

マルセル・シュヴァイツァー著「貸借対照表の構造と機能」の研究 ——収支的成果  
 計算論公理化の初めての試み——.....岐 山 幸 繁(119)

## 第24号 1975(昭50)

行商の研究(2) ——小売流通機構上の地位——.....高 向 嘉 昭(1)

建築確認に関する法的考察 ——最近の判例・審査請求裁決例を中心に——  
 .....楠 元 茂(19)

経営エートス覚書 ——体感フランスと日本——.....児 嶋 正 男(55)

日本の対外直接投資の動向と問題点.....橋 口 幸 夫(79)

イギリス労働組合会議(TUC)の「労働者重役」構想.....網 屋 喜 行(119)

マルセル・シュヴァイツァー著『貸借対照表の構造と機能』の研究(2)——成果処分  
 計算の意思決定論的構築——.....岐 山 幸 繁(131)

## 第25号 1976(昭51)

不確実性下の計画設定の問題点(1) ——H・ヤコブ所説の展開——  
 .....伊 伏 彰(1)

ジャーディン・マセソン商会文書解題.....門 田 明(11)



続経営エートス覚書 ——体感フランスと日本——	児 島 正 男 (33)
薩藩商業略説 (1) ——領国内商業：研究ノート：その1——	高 向 嘉 昭 (55)
日本資本主義における国家と資本 (1) ——歴史的認識を中心として——	橋 口 幸 夫 (75)
イギリス地方財政研究ノート (1) ——近代的地方自治と地方制度改革をめぐって——	福 丸 馨 一 (107)
鹿児島における賃金構造分析 (1)	横 山 政 敏 (141)

## 第26号 1977 (昭52)

日本資本主義における国家と資本 (2) ——戦後過程について・その1——	橋 口 幸 夫 (1)
労働時間についての予備ノート	児 島 正 男 (25)
リーガー貸借対照表理論の自己完結化と精級化 ——アルバハおよびギュムベルの所得を中心にして——	岐 山 幸 繁 (45)
イギリス地方財政研究ノート (3) ——イギリスの地方自治制度と地方財政問題——	福 丸 馨 一 (73)
カナダ及びアメリカ合衆国における州単位のオンバズマン制度について ——アルバータ州及びハワイ州の法制——	楠 元 茂 (101)

## 第27号 1978 (昭53)

企業指導の手段としての資本理論的貸借対照表	岐 山 幸 繁 (1)
いわゆる服装闘争の法的考察 ——人権規定の第三者的効力との関連において——	楠 元 茂 (37)
研究ノート 薩藩商業略説 (3)	高 向 嘉 昭 (63)
(翻訳) J・L・ポーケット「ソ連型社会主義制度における労使関係と経営参加」	網 屋 喜 行 (83)

## 第28号 1980 (昭55)

例外許可について	楠 元 茂 (1)
日本資本主義における国家と資本 (3) ——「高度成長」の始発的過程について——	橋 口 幸 夫 (25)
鹿児島における賃金構造分析Ⅲ	横 山 政 敏 (55)

(資料) ユーゴスラヴィアにおける労働者の企業自主管理法制の展開 (1)

——1950年労働者自主管理基本法——……………網 屋 喜 行 (97)

## 第29号 1981 (昭56)

年功賃金の職能給化の意味するもの……………横 山 政 敏 (1)

マルセル・シュヴァイツァー著『貸借対照表の構造と機能』の研究 (3)

——シュヴァイツァー構想の全体的考察——……………岐 山 幸 繁 (23)

投資計算における変動性考慮……………伊 伏 彰 (47)

(資料) ユーゴスラビアにおける労働者の企業自主管理法制の展開 (2)

——1953年の憲法的法律から1971年の63年憲法第3次修正へ——

……………網 屋 喜 行 (67)

## 第30号 1982 (昭57)

(開学30周年記念号)

現行最低賃金制度の実効性について……………横 山 政 敏 (3)

動態論における貨幣的思考と財的思考 ——シュマーレンバッハ, ワルプ, および

コジオールの所説によって——……………岐 山 幸 繁 (51)

キャパシティコストの配賦とライフサイクル ——K. メンツェルの所説を中心

として——……………伊 伏 彰 (79)

審査請求の利益 ——事例研究——……………楠 元 茂 (95)

“地域経済主義”についての断章的考察 ——地域経済の autonomy をめぐって——

……………橋 口 幸 夫 (115)

シュネーデル社の懲戒規則と懲戒一覧表 (1902年1月) ……………藤 村 大時郎 (139)

鹿児島 の地場企業(3) ——焼酎企業・軸屋酒造株式会社——……………児 嶋 正 男 (155)

薩藩商業略説(四) ——領国外通商・研究ノート・その2——……………高 向 嘉 昭 (三)

## 第31号 1983 (昭58)

管理情報としてのアウスファール コストについて……………伊 伏 彰 (1)

——W・メンネルの所説を中心にして——

農村財政と過疎問題, 再論=覚書 ——重森暁氏の所説に寄せて——

……………福 丸 馨 一 (13)

- 新しい産業別最低賃金と最低賃金制の危機 ——昭和56年7月及び57年1月の  
中賃両答申について——……………横山政敏(33)  
(翻訳) 南西ドイツ＝バーデンにおける地方自治法制の展開(1) ——ゲマインデの  
憲法及び行政に関する法律——……………高橋 洋(53)

### 第32号 1984(昭59)

- 西陣機業における出機の労働関係について ——労働関係「構造化」の一事例  
として——……………横山政敏(1)  
ワルプ損益計算論の公理化……………岐山幸繁(27)  
日本国憲法の「戦争放棄」条項について (O ČLANU JAPANSKOG USTAVA  
O “ZABRANI RATA”) ——1982年11月17日のベオグラード大学政治学部における  
講演のテキスト——……………網屋喜行(59)

### 第33号 1985(昭60)

- マルセル・シュヴァイツァー著『貸借対照表の構造と機能』の研究(4) ——収支的貸借  
対照表論と論理実証主義——……………岐山幸繁(1)  
労働関係の多様化と労働政策 ——西陣機業の賃機(出機)を事例として——  
……………横山政敏(25)  
ユーゴスラヴィアにおける労働者の企業自主管理法制の展開(3) ——1949年12月23日の  
指示と1950年6月26日のチトー演説——……………網屋喜行(43)

### 第34号 1986(昭61)

- 経済のソフト化と統計指標 ——「ソフトミックス」の検討——中西 貢(1)  
再生産表式および資本の有機的構成概念の再検討……………中西 貢(17)  
「臨調・行革」財政と今日の財政危機……………西村 貢(43)  
マルセル・シュヴァイツァー著『貸借対照表の構造と機能』の研究(5) ——意思決定、  
情報、資金フロー計算と取得原価——……………岐山幸繁(69)  
(翻訳) 南西ドイツ＝バーデンにおける地方自治法制の展開(2) ——ゲマインデの憲法  
及び行政に関する法律(2)——……………高橋 洋(93)

**第35号 1987 (昭62)**

(児嶋正男教授記念号)

鹿児島県における離島地域商業の構造変化 ——過疎地域を中心として——

.....高 向 嘉 昭 (1)

日本資本主義における国家と資本(4) ——「高度経済成長」の展開過程について——

.....橋 口 幸 夫 (23)

日本経済の国際化と税制改革.....西 村 貢 (47)

投資決定と原価計算 ——フィッケルトの「投資計算と原価計算の統合」——

.....伊 伏 彰 (69)

ブルードンの『所有の理論』と『ポーランド』手稿.....斉 藤 悦 則 (83)

鹿児島の地場企業(4) ——大島紬企業・安田織物株式会社——...児 嶋 正 男 (103)

最低賃金監督行政の問題点と違反の実体 ——鹿児島を事例として——

.....横 山 政 敏 (129)

(翻訳) 南西ドイツ＝バーデンにおける地方自治法制の展開(3) ——ゲマインデ市民の  
権利及び市民権の取得に関する法律——.....高 橋 洋 (147)**第36号 1988 (昭63)**

原価差異分析の拡充について ——J.H.Powelz氏の所説を中心に——

.....伊 伏 彰 (1)

戦後における日本の経済計画 (続) ——「高度経済成長」から不均衡是正へ——

.....橋 口 幸 夫 (21)

ブルードンの家族論.....斉 藤 悦 則 (43)

ベヴァリッジ批判の現代的視覚 ——Tony Cutler, Karel Williams and John

Williams, Keynes, Beveridge and beyond, の論旨と問題点——竹 田 昌 次 (61)

**第37号 1989 (平元)**

西ドイツ営業報告書における将来報告 ——ゾルグの実態調査によりながら——

.....岐 山 幸 繁 (1)

過剰資本と不換制下の国家の需要創出 ——不換制による金融資本の制限の突破に

おける諸法則——.....金 谷 義 弘 (37)

ヨーロッパ地方自治憲章 ——その紹介と試訳——.....高 橋 洋 (59)

### 第38号 1990(平2)

- 製造間接費の配賦と自動装置工場……………伊 伏 彰(1)
- 会計基準の設定における経済的効率性と分配問題 —— James C.Gaa の所説に依拠  
して——……………古 庄 修(15)

### 第39号 1990(平2)

- FA 化と弾力的計画原価計算 —— H. Siegwart と F.Rass の所説を中心として——  
……………伊 伏 彰(1)
- 日本資本主義における国家と資本(5) —— 「高度経済成長」の高潮過程について——  
……………橋 口 幸 夫(17)
- 財政学における「相対的自律性」について(上) ……………西 村 貢(43)